

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(749)2244
担当部課名	生涯学習部	相模大野図書館	奉仕	係
事務事業名	図書、資料等充実経費		事業コード	15110

1 総合計画における位置づけ

政策名	第5章	いきいきとした生涯学習社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第1節	生涯学習の推進	元
施策名	第1施策	生涯学習関連施設の整備	年度

2 実施根拠及び関連法令等

図書館法、市図書館条例等

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
蔵書計画に基づき図書資料等の充実を図る。		図書、逐次刊行物	
		対象数	
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・図書購入冊数 13,115冊 ・蔵書冊数 259,598冊 ・利用冊数 592,514冊 ・利用者数 236,518冊 		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度～年度

4 評価指標

指標名	図書資料購入達成率	図書資料回転率	
指標式	$\frac{\text{図書購入決算額}}{\text{図書購入予算額}} \times 100$ 24,170千円 / 24,180千円 × 100	$\frac{\text{利用冊数}}{\text{蔵書冊数}} \times 100$ 592,514冊 / 259,598冊 × 100	
指標設定の意図	図書購入計画に対してその達成率をみる	蔵書がどのくらい利用されているかを把握する	

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標			a	100	b	
指標			c	228	d	
指標			e		f	
事業費	決算(予算)額	33,842	33,868	33,587	34,253	34,730
	人員・時間数	15,207時間	15,207時間	15,207時間	15,207時間	15,207時間
	人件費	63,566	63,566	47,442	47,442	47,442
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	97,408	97,434	81,029	81,695	82,172
特定財源	0	0	0	0	0	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価	A:達成している (100%) B:一部達成していない(100%> 80%) C:達成していない (80%>)	= 、 、 の平均値 = 95.6%
	$\frac{a}{b} = \frac{100.0}{100.0} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d} = \frac{228.0}{250.0} \times 100 = 91.2\%$
理由:	資料利用率は目標数値を下回った。3館となり利用者が分散したことが考えられる。PR等により利用促進を図る。	
(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	理由: 市民の知る権利を保証し、その求める資料をできる限り幅広く収集、提供し、調査研究に資するため、時宜を得た資料の収集、保存すべき資料の整理をすすめている。
(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価	A:妥当である B:一部妥当でない C:妥当でない	理由: 市民の図書資料の利用を一層高める工夫を図る。
(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価	A:代替の可能性ない B:代替の可能性低い C:代替の可能性高い	理由: 市民にとって、身近な公共図書館でのサービスが最も利用しやすい。資料収集では、専門的、高価、希少な図書等は県立、国会図書館から提供を受けている。
(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価	A:満足できる B:一部満足できない C:満足できない	理由: 所蔵資料の提供の他、リクエスト制度により市民の希望する図書の提供(他館からの借用、購入等)による
(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価	A:有効である B:一部有効である C:有効でない	理由: 市民の知識、教養、調査研究、レクリエーションに資する上で有効である。

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明:</p> 図書館利用者の一層の利用をはかる。このため図書館利用のPR等をすすめる。
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明:</p>

7 総合評価

評価	A	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方		説明	市民の、図書館資料に対する要求は広範多岐となってきた。こうしたニーズに対するため、3図書館の分担収集、大学図書館、近隣市図書館との相互協力の促進などによる補完を一層進める必要がある。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--